

1 事業の概況

本市水道事業は、安全で安定した給水活動の継続のため、昨年度に引き続き、管網未整備路線や区画整理地区における配水管の布設及び老朽化した配水管や浄配水場施設の更新を実施しました。

拡張事業では、922,972,104円を投じ、安定給水の向上と災害時等の給水対策のため、管網未整備路線の出水不良の改善と区画整理地区において管の布設を必要とする箇所を対象に、配水管布設工事を行ったほか、鶴ヶ丸加圧ポンプ設置工事等の浄配水場整備工事を実施し、口径75～600mmの配水管7,716mを布設しました。

一方、改良事業では、2,636,291,346円を投じ、老朽铸铁管等の更新のため配水管布設工事を行ったほか、浄配水場の整備工事を行い、口径75～800mmの配水管等8,121mを布設しました。

なお、改良事業の浄配水場整備工事は、老朽化した施設の更新を行っており、平成24年度から平成25年度の2ヶ年継続事業である上青木浄水場ほか遠隔制御装置等更新工事のほか、神根浄水場9号井掘替工事、鳩ヶ谷浄水場次亜塩素酸ソーダ注入設備設置工事等を行いました。

2 経理の状況（消費税及び地方消費税込み）

（1）収益的収支の状況

収益的収入の主な収入である給水収益の決算額は10,266,449,776円で、予算現額10,352,671,000円に対して99.2%、受託工事収益は128,397,598円で、予算現額122,074,000円に対して執行率105.2%、水道利用加入金は816,627,000円で、予算現額682,426,000円に対して執行率119.7%となっております。これらにその他営業収益、受取利息等を加えた総額は11,636,853,119円で、予算現額11,619,970,000円に対して100.1%の執行率となっております。

一方、収益的支出の決算額は10,436,402,332円で、予算現額10,996,759,000円に対して94.9%の執行率となっております。主な内訳は、営業費用9,586,879,266円、企業債の支払利息666,209,986円となっております。

以上の収支により、本年度の消費税及び地方消費税込みの利益は1,200,450,787円となりました。

（2）資本的収支の状況

資本的支出の決算額は4,888,554,525円で、予算現額5,375,625,500円に対して90.9%の執行率となっております。この内訳は、建設改良費3,573,409,390円、企業債償還金1,315,145,135円となっております。

一方、資本的収入の主なものは、企業債1,006,000,000円で、このほか受託工事収入56,826,000円、一般会計の負担金47,085,755円、国庫補助金78,260,000円等を加えた決算額は、1,188,677,051円となり、予算現額1,202,783,000円に対して98.8%の執行率となっております。

3 給水状況

本年度末日の給水人口は585,491人で、前年度に比べ4,337人(0.7%)増、給水世帯数は264,038世帯で、前年度に比べ4,183世帯(1.6%)増となっております。

年間総配水量は、64,663,855 m^3 で、前年度に比べ594,604 m^3 (Δ 0.9%)の減となり、有収水量は58,390,050 m^3 で、有収率は90.30%となっております。